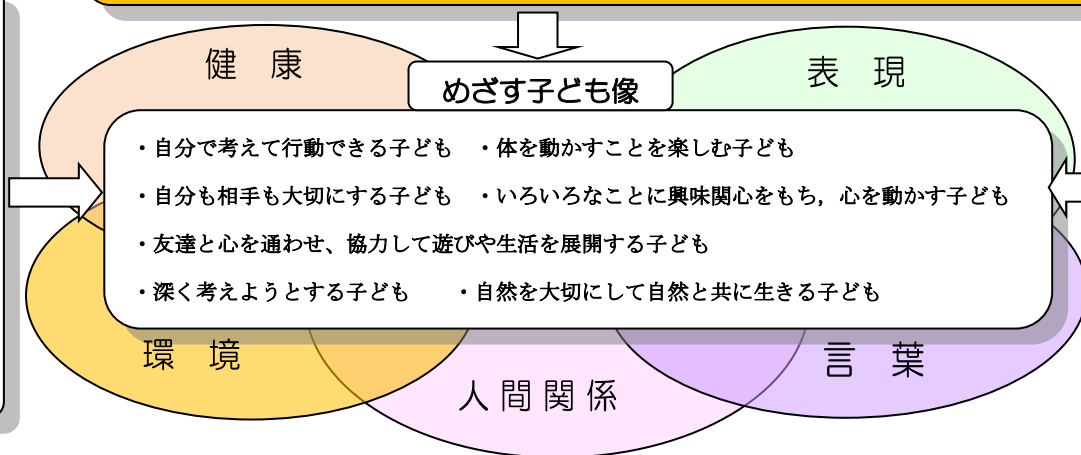




京都市の目指す子ども像
伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

教育目標 **人と共に、生き生きとたくましく遊びや生活を楽しむ子ども**
豊かな感性としなやかな心をもつ子どもを育て
～自ら学ぶ力、自ら律する力の育成～

園児の実態・教師の願い



地域・保護者の願い

経営方針

- ・主体的に遊び、自分の力を発揮する子どもを育てるため、研究に励み実践力を高める。
- ・保護者との信頼関係を築き、家庭との連携を密に図り、保護者と共に子どもの発達を支えようとする。
- ・全教職員一丸となって幼稚園教育を推進し、一人一人の子どもの育ちを保証する。
- ・地域の子育て支援センターとしての役割を果たし、未就園児クラスの取り組みを充実させる。
- ・地域の自然を生かし、また、地域の方のお力をお借りして、教育の充実をはかる。
- ・個々の発達課題を把握し、専門機関との連携を図り総合育成支援教育の充実を図る。
- ・幼稚園教育を、ホームページやその他広報、各種行事を通して地域の施設、他校種に積極的に発信する。
- ・仕事の効率化を図り、働き方改革を推進し、教職員の健康保持増進を図る。

具体的な取組

家庭との連携

- ・PTA 活動、おやじの会
- ・家庭教育講座
- ・ほっこり子育てひろば
- ・子育て支援事業の充実
- ・学校評価

小学校の学びにつながる資質・能力を一体的に育む

【園内研究主題】

環境（人・もの・こと）とつながる中で、豊かな心を育むための教師の援助や環境構成について考える

- ・人権教育の充実
- ・栽培環境の整備と活動の充実
- ・情報発信の充実
(おたより、ホームページその他SNS 広報 等)
- ・預かり保育の充実（教育時間との密な連携、内容の発信）

校種間連携

- ▼小学校との連携
架け橋プログラム実践協力
- ・交流行事の実施
- ・研修、研究会への相互参加
- ▼生き方探求
- ▼チャレンジ体験
- ▼大学との連携、s s s
その他、

地域との連携

- ・園行事での交流による育ち
- ・地域人材の活用
- ・学校評価

未就園児の子育て支援推進事業

教育相談事業

★たまご組（0～2歳児）火・金曜日9：30～11：20

★ひよこ組（3歳児）月～金曜日

9：00～11：30・13：40

預かり保育も利用可。朝8時～・～夕方6時

学校運営協議会

- ・どんぐりーずによる園行事推進
- ・学校評価システムの活用